



平成29年9月26日
市長記者会見資料

平成29年度（第46回）川崎市文化賞等の受賞者が決定しました

1 平成29年度川崎市文化賞等について

（1）川崎市文化賞

小倉 美恵子

（文化活動）

川崎市立坂戸小学校合唱団

（文化活動）

（2）川崎市社会功労賞

高野 繁

（保健衛生）

（3）川崎市スポーツ賞

川島 哲男

（スポーツ実践）

（4）川崎市アゼリア輝（かがやき）賞

新井 卓

（芸術）

桑原 あい

（芸術）

2 平成29年度川崎市文化賞等贈呈式・祝賀会

（1）日 時 平成29年11月6日（月）14：00～16：00

（2）場 所 川崎市国際交流センター

※後日改めてお知らせいたします。

（問い合わせ先）

川崎市市民文化局

市民文化振興室文化政策担当

電話 044-200-2029

<目 次>

(ページ)

1	平成29年度川崎市文化賞等受賞者一覧	1
2	受賞者のプロフィール・略歴（敬称略）	
(1)	川崎市文化賞受賞者	
	・小倉 美恵子	2
	・川崎市立坂戸小学校合唱団	4
(2)	川崎市社会功労賞受賞者	
	・高野 繁	6
(3)	川崎市スポーツ賞	
	・川島 哲男	8
(4)	川崎市アゼリア輝（かがやき）賞	
	・新井 卓	10
	・桑原 あい	12
3	平成29年度川崎市文化賞等選考委員	14
4	贈呈式	15
	（参考）	
1	川崎市文化賞等実施要綱	16
2	これまでに受賞された方々	20
3	川崎市文化賞等の経過について	23

平成 2 9 年度川崎市文化賞等受賞者一覧

(平成 2 9 年 9 月 2 6 日現在)

賞	区分	氏 名	年齢 ・年数	功績分野	住 所
文化賞	個人	おぐら みえこ 小倉 美恵子	5 4	文化活動	川崎市宮前区
	団体	かわさきしりつさかどしょうがっこう 川崎市立坂戸小学校 がっしょうだん 合唱団	3 1	文化活動	川崎市高津区
社会功労賞	個人	たかの しげる 高野 繁	6 7	保健衛生	川崎市多摩区
スポーツ賞	個人	かわしま てつお 川島 哲男	8 0	スポーツ実践	川崎市川崎区
アゼリア輝賞	個人	あらい たかし 新井 卓	3 9	芸術	川崎市高津区
	個人	くわばら あい 桑原 あい	2 6	芸術	東京都

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

おぐら み え こ
小倉 美恵子

～消えつつある情景を前に、現代を生きる私たちに問いかける～

宮前区土橋で生まれ育ち、映画プロデューサー・文筆家として、古くから地域に伝わる伝統行事や文化、自然と共に生きる人々の姿を映画や書籍、講演会で紹介なさっています。平成20年にドキュメンタリー映画「オオカミの護符～里びとと山びとのあわいに～」で文化庁映画賞文化記録映画優秀賞と第17回地球環境映画祭アース・ビジョン賞を受賞されました。丁寧な取材に裏付けされた郷土の記録は、昔から住む市民にも、そして新しく転入してきた市民にとっても、身近に地域を知り地元川崎に愛着を持つきっかけとなっています。



略 歴	
氏 名	小倉 美恵子 様（54歳）
住 所	川崎市宮前区
川崎市における 在住年数	54年
職 業	文筆家、プロデューサー
平成18年	映画監督 由井 英（ゆい すぐる）氏とともに株式会社ささらプロダクションを宮前区に設立し、代表取締役役に就任。
平成20年	実家の土蔵で見つけたお犬さまが描かれたお札をきっかけに、関東一円につながるオオカミ信仰の謎に迫るドキュメンタリー映画「オオカミの護符～里びとと山びとのあわいに～」をプロデュース。文化庁映画賞文化記録映画優秀賞と第17回地球環境映画祭アース・ビジョン賞を受賞。
平成22年	宮前区に昔から伝わる「講」や「初山の獅子舞」などの伝統行事を題材としたドキュメンタリー映画「うつし世の静寂に」（うつしよのしじまに）をプロデュース。
平成23年	「オオカミの護符」単行本が新潮社から刊行される。
平成26年	「オオカミの護符」が文庫化、新潮社から刊行される。
新作映画『ものがたりをめぐる物語』を平成30年に完成・公開予定。また、地元川崎でのフィールドワークの経験をもとに、映画の舞台でもある信州諏訪の風土と人の暮らしに深く取材した『諏訪式。』を同じく平成30年に晶文社より出版予定。	
【推薦者】 宮前区役所まちづくり推進部	

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

かわさきしりつさかどしょうがっこうがっしょうだん 川崎市立坂戸小学校合唱団

～ 30年続いている、小学校の合唱団～

昭和61年に創設され、平成28年に創設30周年を迎えました。
小学生で構成されているため毎年団員が変更となる中、創設当初から継続して活動し、平成26年7月1日ミューザ川崎シンフォニーホールで行われた市制90周年記念式典ではオープニングを飾られました。また、NHK全国学校音楽コンクール神奈川県大会9年連続入賞をはじめ、多くの賞を受賞なさっています。地域との関わりも深く、高津区の「健康福祉まつり」出演や小黑恵子童謡歌集への参加など、その歌声を届けていらっしゃいます。



略 歴	
団 体 名	川崎市立坂戸小学校合唱団
所 在 地	川崎市高津区
設 立 年	昭和 6 1 年
代 表 者	【校長】佐川恵子 【顧問】中島はるみ
昭和 6 1 年	坂戸小学校合唱団創設
平成 7 年	川崎市時事新聞社主催合唱コンクール自由曲の部 最優秀賞受賞
平成 1 1 年	川崎市小中合唱コンクール 教育長賞受賞
平成 1 2 年	川崎市小中合唱コンクール 最優秀賞受賞
平成 1 5 年	TBS 子ども音楽コンクール神奈川県大会 最優秀賞 川崎市小中合唱コンクール 最優秀賞受賞
平成 1 8 年	川崎市小中合唱コンクール 最優秀賞受賞
平成 1 9 年	川崎市小中合唱コンクール 市長賞受賞
平成 2 0 年	川崎市小中合唱コンクール 最優秀賞受賞
平成 2 1 年	第 5 回川崎市子どもの音楽の祭典コンテスト 教育委員長賞受賞 TBS 子ども音楽コンクール神奈川県大会 最優秀賞 NHK 全国学校音楽コンクール関東甲信越ブロックコンクール 奨励賞 川崎市小中合唱コンクール 最優秀賞受賞
	中略
平成 2 7 年	NHK 全国学校音楽コンクール神奈川県大会 銀賞 TBS 子ども音楽コンクール神奈川県大会 最優秀賞 川崎市小中合唱コンクール 最優秀賞
平成 2 8 年	TBS 子ども音楽コンクール横浜地区大会 合唱部門優秀賞 NHK 全国学校音楽コンクール関東甲信越ブロックコンクール 銅賞 川崎市小中合唱コンクール 最優秀賞
平成 2 9 年	TBS 子ども音楽コンクール横浜地区大会 合唱部門優秀賞 重唱部門優良賞 NHK 全国学校音楽コンクール関東甲信越ブロックコンクール 銅賞
【推薦者】 多摩川新聞社	

川崎市社会功労賞受賞者のプロフィール

たかの しげる
高野 繁

～川崎のまちかどから世界の被災地まで、目の健康を守る～

川崎市眼科医会会長として、平成18年に「かわさき市民祭り」における目の無料相談事業を立ち上げ、市民への健康啓発に多大な貢献をされました。また、日本眼科医会会長として、平成25年にフィリピンが大型台風で被災した際、東日本大震災での被災地診療の経験を活かし巡回診療車両を用いた国際貢献を行われました。

その他、川崎市医師会では22年間役員を務められ、救急医療対策や学校保健活動、准看護師養成事業など様々な分野で手腕を発揮なさってきました。特に、川崎市の介護保険事業の発展や救急医療体制の整備、公害健康被害及びぜん息対策に力を入れ、現在に続く地域医療の基盤構築に大きく寄与されました。



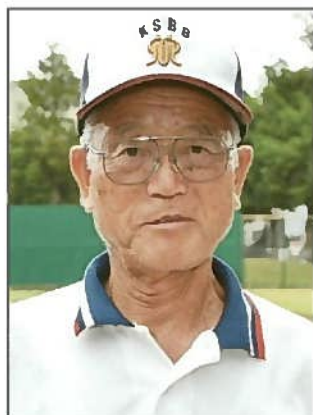
略 歴	
氏 名	高野 繁 様（67歳）
住 所	川崎市多摩区
川崎市における 在住年数	67年
職 業	医師
昭和52年 川崎市医師会 入会 平成 3年 高野眼科医院 院長就任 平成 5年 川崎市眼科医会 幹事就任（～平成9年） 平成 6年 神奈川県眼科医会 理事就任（～平成12年） 平成 7年 川崎市医師会 理事就任（～平成17年） 平成 8年 日本眼科医会 常任理事就任（～平成12年） 平成 9年 川崎市眼科医会 会長就任（～平成19年） 平成12年 神奈川県眼科医会 副会長就任（～平成22年） 平成14年 日本眼科医会 常任理事就任（～平成22年） 平成17年 川崎市医師会 副会長就任（～平成23年） 平成22年 日本眼科医会 会長就任 平成23年 川崎市医師会 監事就任（～平成29年）	
【推薦者】 公益社団法人川崎市医師会 公益社団法人川崎市病院協会 公益社団法人川崎市歯科医師会 一般社団法人川崎市薬剤師会 公益社団法人川崎市看護協会	

川崎市スポーツ賞受賞者のプロフィール

かわしま てつお
川島 哲男

～少年野球からシニア大会まで、川崎野球界の父～

49年間にわたり川崎野球協会副理事長・理事長を務められ、川崎野球界の発展に貢献されました。また、日本冶金工業^{やきん}(株)川崎製造所に勤務し、職業訓練所の指導員として訓練生の教育・指導を行う傍ら、科学技術学園高校川崎通信制の野球部監督として、野球を通じて社会人としての人材育成にも尽力されました。昭和58年からは、全国高等学校定時制・通信制軟式野球大会に県代表として7年連続出場し5回優勝、国民体育大会少年の部では2回優勝を果たすなど、輝かしい成績を残されました。平成28年には川崎ブルースックスのメンバーとして、全国古希野球大会で優勝するなど、シニア世代のスポーツ普及にも力を注がれています。



略 歴	
氏 名	川島 哲男 様 (80歳)
住 所	川崎市川崎区
川崎市における 在住年数	62年
職 業	なし
昭和30年	日本冶金工業(株)川崎製造所 入社 (～平成8年)
昭和54年	第34回国民体育大会秋季大会軟式野球競技・少年の部 優勝
昭和55年	第35回国民体育大会秋季大会軟式野球競技・少年の部 優勝
昭和58年	第30回全国高等学校定時制・通信制軟式野球大会 優勝
昭和59年	第31回全国高等学校定時制・通信制軟式野球大会 優勝
昭和60年	第32回全国高等学校定時制・通信制軟式野球大会 優勝
昭和61年	姉妹都市ボルチモア少年野球チーム派遣監督
昭和62年	姉妹都市ボルチモア少年野球チーム派遣監督
	第34回全国高等学校定時制・通信制軟式野球大会 優勝
昭和63年	第35回全国高等学校定時制・通信制軟式野球大会 優勝
平成 元年	市内定時制野球部技術講習会講師 (～28年)
平成 8年	市立大師中学校野球部公認コーチ (～23年)
平成21年	姉妹都市ボルチモア少年野球チーム派遣副団長兼コーチ
【推薦者】	
川崎野球協会	
日本冶金工業(株)川崎製造所	

川崎市アゼリア輝賞受賞者のプロフィール

あらい たかし
新井 卓

～複製不可能な銀板写真に、「記憶」をとどめる～

ダゲレオタイプ（銀板写真）という写真黎明期の技法を用いる写真家でいらっしゃいます。核をテーマに、平成27年に刊行した写真集「モ ニ ュ メ ン ツ MONUMENTS」にて、平成28年に第41回木村伊兵衛写真賞を受賞されました。国内外の多数の展覧会に参加され、ボストン美術館、サンフランシスコ近代美術館、東京都写真美術館ほか多数の美術館に作品が収蔵されています。近年は映像制作、執筆のほか、内外の美術館・大学等で公開講義を行うなど多岐にわたる活動を展開されています。



© Anton Orlov 2015

略		歴
氏 名	新井 卓 様（39歳）	
住 所	川崎市高津区	
川崎市における 在住年数	39年	
職 業	写真家	
平成26年	英国ソースコード・プライズ（現 Solas Prize） 受賞	
平成27年	写真集「MONUMENTS(モニュメンツ)」 刊行	
平成28年	第41回木村伊兵衛写真賞 受賞	
	日本写真協会賞新人賞 受賞	
	神奈川文化賞未来賞 受賞	
	Atomic Photographers Guild 加入	
平成29年	国立民族学博物館館外研究員 就任	
【推薦者】		
公益社団法人 日本写真協会		

川崎市アゼリア輝賞受賞者のプロフィール

くわばら
桑原 あい

～世界も注目するジャズピアニスト～

洗足学園高等学校卒業後、プロのジャズピアニストとして活動されています。モントルー・ジャズ・ソロ・ピアノ・コンペティション・イン・かわさき 2014 で優勝、翌年スイスのモントルーで開かれた同コンペティションではファイナリストとなりました。演奏活動においては、平成25年にアメリカの4都市をまわるツアーを成功させ、平成26年以降は毎年全国ツアーを行っています。今年の2月には、世界最高峰のドラマー、スティーヴ・ガッド、そしてベーシスト、ウィル・リーを迎えて制作したアルバムをリリースし、日本に限らず世界の注目を集めています。



略 歴	
氏 名	桑原 あい 様 (26歳)
住 所	東京都
川崎市における 在住年数	なし
職 業	ジャズピアニスト
平成22年	洗足学園高等学校音楽科ジャズピアノ専攻 卒業
平成23年	「The Young Americans Dinner-Theater Europe」のピアニストとしてドイツに滞在。(5～8月) 大泉洋企画「大泉ワンマンショー」にピアニストとして全国ツアー参加。
平成24年	1st アルバム「from here to there」をリリース。
平成25年	2nd アルバム「THE SIXTH SENSE」をリリース。 サッポロシティジャズ札幌公演・東京公演に出演。 第12回東京 JAZZ フェスティバル出演。アメリカ西海岸ツアー
平成26年	3rd アルバム「the Window」をリリース。 モントルー・ジャズ・ソロ・ピアノ・コンペティション・イン・かわさき2014で優勝
平成27年	4th アルバム「Love Theme」をリリース。 モントルー・ジャズ・フェスティバル・ソロ・ピアノ・コンペティション・2015ファイナリスト。
平成29年	5th アルバム「Ai Kuwabara with Steve Gadd & Will Lee Somehow,Someday,Somewhere」をリリース。同トリオで国内ブルーノート、ビルボードライブツアーを行う。
【推薦者】 公益財団法人 川崎市文化財団	

平成29年度川崎市文化賞等選考委員（50音順・敬称略）

氏 名	分 野	所 属
あかつか みつこ 赤塚 光子	社 会 福 祉	元 立 教 大 学 教 授
くぼた まさき 久保田 昌希	学 術 (歴 史 学)	駒 澤 大 学 教 授
すず き のぼる 鈴木 登	保 健 衛 生	聖マリアンナ医科大学教授
つのだ みつひろ 角田 光広	ス ポ ー ツ	テレビ神奈川報道局スポーツ部長
とくだ けんじ 徳田 賢二	産 業 経 済	専 修 大 学 教 授
はやし ようこ 林 容子	芸 術 (美 術)	尚 美 学 園 大 学・大 学 院 芸 術 情 報 研 究 科 准 教 授
ふくとみ ただかず 福 富 忠和	学 術 (デジタルメディア)	専 修 大 学 教 授
むらかみ あけみ 村 上 明美	芸 術 (音 楽)	洗足学園音楽大学名誉教授
よこやま よしかず 横 山 由和	芸 術 (演 劇)	昭 和 音 楽 大 学 教 授
いとう ひろし 伊藤 弘	行 政	副 市 長
すずき けんじ 鈴木 賢二	行 政	市 民 文 化 局 長
にし よしゆき 西 義行	行 政	教 育 次 長

平成２９年度川崎市文化賞等贈呈式について

１ 日 時 平成２９年１１月６日（月）

１４：００～１５：００

（祝賀会 １５：００～１６：００）

２ 会 場 川崎市国際交流センター

川崎市中中原区木月祇園町２－２

電話０４４－４３５－７０００（代）

３ 式次第 開式

川崎市文化賞等贈呈

主催者あいさつ

来賓代表あいさつ

受賞者代表あいさつ

閉式

川崎市文化賞等実施要綱

(目的)

第1条 川崎市の文化、芸術、地域社会、市民福祉及びスポーツ等の各分野において、その向上及び発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対し、川崎市文化賞等を贈呈し、文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。

(名称)

第2条 川崎市文化賞等の名称は、次の各号のとおりとする。

- (1) 川崎市文化賞
- (2) 川崎市社会功労賞
- (3) 川崎市スポーツ賞
- (4) 川崎市アゼリア輝(かがやき)賞

(主催)

第3条 川崎市文化賞等の主催は、川崎市とする。

(対象分野等)

第4条 川崎市文化賞等の対象となる分野、推薦基準等については、別表のとおりとする。

(候補者の推薦)

第5条 川崎市文化賞等に係る受賞の対象となる候補者については、次の各号に定めるものの推薦による。

- (1) 市内の関係機関及び団体
- (2) 本市における部及び室

(受賞者の決定)

第6条 川崎市文化賞等に係る受賞者は、前条に規定する団体等の推薦に基づき川崎市文化賞等選考委員会（以下「選考委員会」という。）の議を経て、市長が決定する。

(表彰)

第7条 第6条の規定により、決定した者について、賞状及び副賞を贈呈し、これを表彰する。

(特別賞)

第8条 市長は、この要綱に定めるもののほか、特に顕著な活躍をし、功績があった個人又は団体に対し、選考委員会の議を経ずに特別賞を贈呈することができる。

(庶務)

第9条 川崎市文化賞等贈呈に関する庶務は、市民文化局において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成 3 年 7 月 2 4 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 1 4 年 5 月 2 9 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 1 5 年 5 月 2 7 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 1 7 年 9 月 1 2 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 2 0 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 2 1 年 5 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 2 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 2 8 年 4 月 1 日から施行する。

別 表

川崎市文化賞等受賞対象分野、推薦基準等一覧表

No. 1

	分 野	内 容	推 薦 基 準
文 化 賞	教 育	教育研究、教育実践	1 個人 川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、川崎市における文化の向上、発展に尽力し、また貢献し、とくにその功績顕著な者。 2 団体 概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をととして川崎市における文化の向上、発展にとくに貢献した団体。
	学 術	人文科学、社会科学、自然科学	
	芸 術	絵画、彫刻、版画、写真、音楽、演劇、文芸、芸能など	
	文化活動	国際文化交流、地域文化の創造、普及及び振興、文化財の発掘、調査、保存及び継承など	
社 会 功 労 賞	社会福祉	児童、母子、老人、身体障害者、及び知的障害者などの福祉活動	1 個人 川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、概ね10年以上の活動をととして川崎市における市民生活の向上、発展にとくに貢献した者。 2 団体 概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をととして川崎市における市民生活の向上、発展にとくに貢献した団体。
	保健衛生	保健衛生、医療	
	産業・経済	産業、経済の振興と社会への貢献	
	地域振興	地域社会の発展、交流及び連携の促進、自然環境の保全、回復育成など	
ス ポ ー ツ 賞	スポーツ 実践	大会等の記録、成績	1 国際大会に入賞した個人又は団体。(注1,2 参照) 2 国内大会に2年連続優勝又はこれに準じた成績を残した個人又は団体。(注1,2 参照) 3 競技人口が多く、レベルの高い国内大会に優勝又はこれに準じた成績を残した個人又は団体。(注1 参照) 4 日本新記録など特に優秀な記録を残した個人又は団体。(注1 参照) 5 スポーツ向上に貢献した功績が顕著な者。(注1 参照) (注1) ここでいう「個人又は団体」とは、川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人又は団体をいう。 (注2) 対象となる大会は、次のとおりとする。 ア 国際大会 オリンピック、世界選手権大会(ワールドカップ)、アジア大会、ユニバーシアード、パラリンピック、フェスピックその他これに準じた大会 イ 国内大会 日本選手権大会、全日本学生選手権大会、全国高校総合体育大会、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会、その他これに準じた大会

	分 野	内 容	推 薦 基 準
ス ポ ー ツ 賞	スポーツ 振興	スポーツの普及、振興	1 個人 川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、概ね 10 年以上の活動をととして川崎市におけるスポーツの向上、発展にとくに貢献した者。 2 団体 概ね 10 年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をととして川崎市におけるスポーツの向上、発展にとくに貢献した団体。
ア ゼ リ ア 輝 賞 かがやき	文 化 芸 術	学 術 音 楽 美 術 文 学 演 劇 写 真 舞 踊 スポーツ等	1 若年層及び中堅層の個人又は団体 (1) 個展・演奏会・公演・講演等の活動において現在活躍中の若年層及び中堅層で、さらに今後の活躍が特に期待される個人又は団体。 (2) 川崎らしい特色ある活動をしている個人又は団体、特定の分野における抜群の成果を収めた個人又は団体。 (3) 各部門においてその年に顕著な業績をあげ、広く市民に希望と感動をもたらした個人又は団体。

川崎市文化賞等をこれまでに受賞された方々(敬称略)

No. 1

昭和47年度(第1回)		昭和56年度(第10回)		昭和63年度(第17回)	
安藤 英輔	(研究活動)	奥田 千秋	(保健衛生)	井上 房江	(保健衛生)
石川 八代次	(教育実践)	芹澤 忠蔵	(社会福祉)	竹田 道太郎	(芸術)
伊藤 六郎兵衛	(郷土史研究)	野本 琢	(社寺建築)	土方 恵治	(教育)
大古 誠司	(スポーツ実践)	藤子不二雄	(児童漫画)	水原 春郎	(地域医療)
川崎市民交響楽団	(音楽)	京浜協同劇団	(地域文化)	三井 春富	(文化交流)
斉藤 茂	(美術)	昭和57年度(第11回)		幸の会	(社会福祉)
中原 誠	(一般文化)	植松 正子	(母子保健)	平成元年度(第18回)	
昭和48年度(第2回)		高野 榮	(障害者福祉)	内海 榮一郎	(地域医療)
圓鐔 勝二[勝三]	(美術)	田邊 秀治	(社会福祉)	奥田 良三	(芸術)
笠井 儀郎	(スポーツ実践)	松原 秀耕	(文化振興)	柏木 武司	(社会福祉)
庄野 潤三	(文芸)	山田 太一	(文芸)	亀ヶ谷 利男	(文化財保護)
高島 松柏	(教育実践)	川崎古式消防纏保存会	(文化財保護)	手塚 彌太郎	(産業振興)
日本鋼管株式会社硬式野球部	(スポーツ実践)	川崎青年会議所・高津青年会議	(地域文化)	野谷 博司	(教育)
昭和49年度(第3回)		昭和58年度(第12回)		三宅 忠雄	(保健衛生)
太田 清一	(保健衛生)	嘉重 きよ	(社会福祉)	東芝女子バスケットボール部	(スポーツ実践)
小笠原 洪一	(スポーツ実践)	古尾谷 盛太郎	(地域文化)	平成2年度(第19回)	
金子 直蔵	(社会福祉)	前田 徳尚	(保健衛生)	石川 幾蔵	(地域文化)
山室 静	(文芸)	森 爽海	(教育)	一ノ瀬 志郎	(保健衛生)
結城 正雄[天童]	(美術)	川崎市歯科医師会心身障害児	(社会福祉)	小川 信夫	(教育)
昭和50年度(第4回)		歯科治療協力医グループ		小黒 恵子	(芸術)
川嶋 廣吉	(保健衛生)	科学技術学園高等学校	(スポーツ実践)	小西 乾太郎	(文化振興)
齋藤 壽一	(絵画)	川崎野球部<通信制>		濱田 靖一	(学術)
島田 きみ	(社会福祉)	人形劇団ひとみ座	(演劇)	さざなみ会	(社会福祉)
藤田 親昌	(文化振興)	昭和59年度(第13回)		法政大学第二高等学校	(スポーツ実践)
松尾 興助	(社会教育)	石川 芳松	(文化財保護)	アメリカンフットボール部	
昭和51年度(第5回)		磯野 和久	(保健衛生)	平成3年度(第20回)	
大山 義隆	(保健衛生)	臼田 吉男	(保健衛生)	文化賞	井上 和賀雄 (教育)
國枝 慶一	(社会福祉)	小野寺 章彦	(スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
久保 常晴	(学術)	柏倉 政男	(社会福祉)		日本電気玉川吹奏楽団 (芸術)
濱田 庄司	(美術)	小林 英男	(地域文化)	社会功労賞	安藤 武次 (社会福祉)
まど・みちお	(文学)	長江 録弥	(芸術)		松田 文太郎 (保健衛生)
多摩芸術学園「わが町—溝の口」(演劇)		前田 豊子	(教育)		三木 齊 (産業経済)
構成・出演者一同		法政大学第二高等学校バレーボール部	(スポーツ実践)	スポーツ賞	山田 敬蔵 (スポーツ振興)
昭和52年度(第6回)		昭和60年度(第14回)			東芝野球部 (スポーツ実践)
高橋 憲太郎	(文化振興)	井田 潔	(保健衛生)		富士電機女子バレーボール部 (スポーツ実践)
馬來田 善孝	(美術)	岡 時義	(社会福祉)	平成4年度(第21回)	
宮田 多良喜	(スポーツ振興)	栗田 正文	(保健衛生)	文化賞	渋谷 益左右 (文化活動)
川崎沖縄芸能研究会	(文化財保護)	馬場 あき子	(芸術)		杉山 康彦 (学術)
昭和53年度(第7回)		坂東 忠彦	(教育)		谷川 健一 (学術)
麻生 三郎	(美術)	米山 市郎	(地域文化)		萩坂 桃彦 (芸術)
渡辺 三郎	(保健衛生)	禰宜舞保存会	(文化財保護)		東芝科学館 (文化活動)
市川 昇	(文化振興)	法政大学第二高等学校	(スポーツ実践)	社会功労賞	市川 ハル (社会福祉)
小向・菅・初山の獅子舞保存会	(文化財保護)	フェンシング部			鈴木 清次 (地域振興)
河上 徹太郎	(文芸)	昭和61年度(第15回)			渡邊 嘉造伊 (保健衛生)
東芝野球部	(スポーツ実践)	小田切 純一	(医療)	スポーツ賞	NKKバスケットボール部 (スポーツ実践)
中山 貞治	(社会福祉)	小林 明治	(障害者福祉)	平成5年度(第22回)	
昭和54年度(第8回)		白井 禄郎	(教育実践)	文化賞	岩谷 隆存 (教育)
青江 舜二郎	(演劇)	田中 岑	(芸術)		古江 亮仁 (文化財保護)
石井 展子	(社会福祉)	沼田 稲次郎	(教育実践)		村上 直 (学術)
齋藤 武雄	(スポーツ振興)	科学技術学園高等学校	(スポーツ実践)	社会功労賞	近藤 正夫 (保健衛生)
田中 利三	(保健衛生)	川崎<通信制>卓球部			川崎信用金庫 (地域振興)
箕輪 敏行	(社会教育)	水車の会	(社会福祉)	スポーツ賞	小林 完一 (スポーツ振興)
新城郷土芸能保存会	(文化財保護)	昭和62年度(第16回)			早川 友二 (スポーツ実践)
昭和55年度(第9回)		猪熊 和吉	(地域文化)		檜森 祐之 (スポーツ実践)
岡 信孝	(芸術)	西郷 信綱	(学術)	平成6年度(第23回)	
鈴木 弘治	(保健衛生)	鈴木 正	(教育)	文化賞	飯嶋 和夫 (教育)
松井 浩正	(スポーツ振興)	中野 一雄	(スポーツ振興)		湯上 二郎 (教育)
持田 春吉	(社会教育)	二階堂 龍夫	(芸術)		小澤 征爾 (芸術)
横山 央	(社会福祉)	古沢 妙	(社会福祉)	社会功労賞	高士 利男 (保健衛生)
川崎少年少女合唱団	(地域文化)	馬嶋 正雄	(保健衛生)		中島 忠三 (地域振興)
		梓の会	(社会福祉)		李 仁夏 (社会福祉)

平成6年度(第23回)(続き)			平成13年度(第30回)(続き)			平成20年度(第37回)		
社会功労賞	近藤 俊朗 (社会福祉)		社会功労賞	壁 義彰 (社会福祉)		文化賞	与 勇輝 (芸術)	
	原 泰造 (社会福祉)			窪田 敏昭 (保健衛生)			佐藤 忠男 (芸術)	
スポーツ賞	高橋 三代子 (スポーツ実践)			小峯 利一 (産業経済)		社会功労賞	宮川 政久 (保健衛生)	
	神奈川県立住吉高等学校 (スポーツ実践)		平成14年度(第31回)				和田 義盛 (地域振興)	
	チアリーディング部LANCERS		文化賞	中島 豪一 (文化活動)		スポーツ賞	川崎市立橋高等学校 (スポーツ実践)	
平成7年度(第24回)				民具製作技術保存会 (文化活動)			バレーボール部	
文化賞	小川 一朗 (学術)		社会功労賞	芽の字会 (社会福祉)			富士通女子バスケットボール部 (スポーツ実践)	
	久保 陽子&弘中 孝 (芸術)			松尾 成久 (保健衛生)		アゼリア輝賞	大矢 高弓 (芸術・美術)	
	岡本 喜八 (芸術)			持田 俊夫 (産業経済)			廣田 美穂 (芸術・音楽)	
社会功労賞	野呂 幸進 (社会福祉)		平成15年度(第32回)			国際貢献特別賞	中込 璋 (平和活動)	
	田中 忠一 (保健衛生)		文化賞	神奈川県立多摩高等学校 (芸術)		平成21年度(第38回)		
	高橋 隆天 (地域振興)			合唱部		文化賞	加古 里子 (芸術)	
スポーツ賞	隆三杉 太一 (スポーツ実践)			齋藤 文夫 (文化活動)			佐藤 征一郎 (芸術)	
	成田 真由美 (スポーツ実践)		社会功労賞	大谷 金一 (社会福祉)		社会功労賞	金子 忠雄 (社会福祉)	
平成8年度(第25回)				栗山 寛 (保健衛生)			久保木 弘 (保健衛生)	
文化賞	碓井 正久 (教育)		スポーツ賞	吉野 辰男 (地域振興)		スポーツ賞	朝日 健太郎 (スポーツ実践)	
	麻生フィルハーモニー管弦楽団 (芸術)			三菱ふそう川崎硬式野球部 (スポーツ実践)			左澤 重明 (スポーツ振興)	
	齋間 萬 (文化活動)			加藤 時太郎 (スポーツ振興)		アゼリア輝賞	大類 朋美 (芸術・音楽)	
	中川 竹泰 (文化活動)		アゼリア輝賞	大平 貴之 (文化・天文)			真飛 聖 (芸術・演劇)	
社会功労賞	馬嶋 喜多子 (社会福祉)			秦 江里奈 (芸術・音楽)		平成22年度(第39回)		
	鈴木 正一 (保健衛生)		平成16年度(第33回)			文化賞	藤嶋 昭 (学術・教育)	
	日本アイ・ビー・エム株式会社 (地域振興)		文化賞	原田 尚彦 (学術)			白鳥 あかね (芸術・映画)	
	川崎事業所			大矢 紀 (絵画)		社会功労賞	大山 泰弘 (社会福祉・産業経済)	
スポーツ賞	三菱自動車川崎硬式野球部 (スポーツ実践)			角田 益信 (郷土史)			太田 正治 (保健衛生)	
平成9年度(第26回)			社会功労賞	白野 明 (社会福祉)			中山 茂 (産業経済・地域振興)	
文化賞	篠原 一 (教育)			かわさき自然調査団 (地域振興)		スポーツ賞	車 耕作 (スポーツ振興)	
	東芝ライト・オブ・ジャズ・オーケストラ (芸術)		スポーツ賞	目黒 友薫 (フェンシング)		アゼリア輝賞	小林 政高 (芸術・音楽)	
	今村 昌平 (芸術)		アゼリア輝賞	李 相日 (映画・監督)			光岡 暁恵 (芸術・音楽)	
	無羅多 正建 (文化活動)			三瓶 将廣 (バイシクル・クロス)		スポーツ特別賞	東芝野球部 (スポーツ実践)	
社会功労賞	小川 玉子 (社会福祉)		平成17年度(第34回)				川島 永嗣 (スポーツ実践)	
	田辺 誠 (保健衛生)		文化賞	横山 榮二 (環境保全)			稲本 潤一 (スポーツ実践)	
スポーツ賞	上野 富夫 (スポーツ振興)			鶴澤 久 (能楽)			中村 憲剛 (スポーツ実践)	
平成10年度(第27回)			社会功労賞	安藤 國男 (障害者福祉)			中村 俊輔 (スポーツ実践)	
文化賞	芳賀 周一郎 (教育)			斉藤 二郎 (地域福祉)			森本 貴幸 (スポーツ実践)	
	藤村 志保 (芸術)			田中 辰彦 (地域医療)			鄭 大世 (スポーツ実践)	
	細山郷土資料館 (文化活動)		スポーツ賞	中田 大輔 (トランポリン)		平成23年度(第40回)		
社会功労賞	林 壽男 (社会福祉)		アゼリア輝賞	神谷 百子 (芸術・音楽)		文化賞	青木 信雄 (教育)	
	田山 四郎 (保健衛生)			松下 京介 (芸術・音楽)			井口 衛 (教育)	
	福嶋 三郎 (産業経済)		スポーツ特別賞	三菱ふそう川崎硬式野球部 (スポーツ実践)			高野 映子 (文化活動)	
スポーツ賞	佐々木 竹見 (スポーツ実践)			東芝ブレイブサンダース (スポーツ実践)		社会功労賞	朗読ボランティアグループ「さんざし」 (社会福祉)	
	日野原 守 (スポーツ振興)		平成18年度(第35回)				小島 春男 (地域振興)	
平成11年度(第28回)			文化賞	小川 典子 (ピアノ)			(財)川崎市国際交流協会 (地域振興)	
文化賞	杉本 長治 (教育)			小池 汪 (写真)			日本語講座ボランティア	
	三輪 晃久 (芸術)			藤田 朝也 (演劇)		音楽特別賞	後藤 正孝 (ピアノ)	
社会功労賞	電機連合神奈川県地方協議会 (社会福祉)		社会功労賞	奥村 栄 (社会福祉)		スポーツ特別賞	宇津木 瑠美 (スポーツ実践)	
	池田 宏 (保健衛生)			杉浦 芳子 (地域医療)		平成24年度(第41回)		
	栗原 福蔵 (産業経済)		スポーツ賞	齊藤 義晴 (スポーツ振興)		文化賞	江頭 秀夫 (文化活動)	
	間島 快子 (地域振興)		アゼリア輝賞	後藤 正孝 (芸術・音楽)			和田 あき子 (文化活動)	
スポーツ賞	伊東 浩司 (スポーツ実践)			平原 綾香 (芸術・音楽)		社会功労賞	萩原 保夫 (社会福祉)	
平成12年度(第29回)			スポーツ特別賞	富士通アメリカンフットボール部 (スポーツ実践)			間瀬 実 (保健衛生)	
文化賞	篠田 卓夫 (教育)		平成19年度(第36回)			スポーツ賞	専修大学体育会サッカー部 (スポーツ実践)	
	渡辺 豊重 (芸術)		文化賞	秋山 和慶 (音楽)		アゼリア輝賞	垣内 悠希 (芸術・音楽)	
	吉田 喜重 (文化活動)			森川 定實 (平和運動)			毛利 文香 (芸術・音楽)	
社会功労賞	小林 五代子 (社会福祉)		社会功労賞	石井 哲夫 (社会福祉)		スポーツ特別賞	市立橋本高等学校女子バレーボール部 (スポーツ実践)	
	工藤 昭 (産業経済)			小泉 一郎 (産業経済)			立石 諒 (スポーツ実践)	
スポーツ賞	東芝男子バスケットボール部 (スポーツ実践)		スポーツ賞	法政大学アメリカンフットボール部 (スポーツ実践)		平成25年度(第42回)		
	伊丹 寅吉 (スポーツ振興)			春日山部屋 (スポーツ振興)		文化賞	(公財)東京交響楽団 (芸術)	
平成13年度(第30回)			アゼリア輝賞	須藤 梨菜 (芸術・音楽)		社会功労賞	高橋 章 (保健衛生)	
文化賞	森久保 安美 (教育)			成海 璃子 (芸術・演劇)			都倉 正明 (産業・経済)	
	名渡山 兼一 (文化活動)		スポーツ特別賞	東芝野球部 (スポーツ実践)			飯田 和子 (地域振興)	
	上田 恒三 (文化活動)							

平成25年度(第42回)(続き)	
スポーツ賞	井端 弘和 (スポーツ実践)
	柿生青少年柔道会 (スポーツ振興)
アゼリア輝賞	内田 けんじ (芸術(映画))
	昆 夏美 (芸術(音楽))
スポーツ特別賞	大久保 嘉人 (スポーツ実践)
	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)
平成26年度(第43回)	
文化賞	城谷 護 (文化活動)
	寺尾 嘉剛 (文化活動)
	奈良岡 朋子 (芸術)
	炉端の会 (文化活動)
社会功労賞	井田 満夫 (保健衛生)
スポーツ賞	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)
アゼリア輝賞	細川 千尋 (芸術(音楽))
	三寺 郷美 (芸術(ダンス))
スポーツ特別賞	浜田 千穂 (スポーツ実践)
	大久保 嘉人 (スポーツ実践)
	富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)
平成27年(第44回)	
文化賞	大谷 康子 (芸術)
	小原 孝 (芸術)
	長島 保 (文化活動)
	渡辺 賢二 (教育)
社会功労賞	新井 靖子 (社会福祉)
アゼリア輝賞	赤瀬 紗也香 (スポーツ実践)
	渡邊 麗美 (スポーツ実践)
スポーツ特別賞	NECレッドロケッツ (スポーツ実践)
	大久保 嘉人 (スポーツ実践)
平成28年(第45回)	
文化賞	河原 郁夫 (文化活動)
	鈴木 穆 (文化活動)
	深見 政則 (文化活動)
	影向寺重要文化財・史跡保存会 (文化活動)
社会功労賞	渡邊 嘉久 (保健衛生)
スポーツ賞	川崎フロンターレ (スポーツ振興)
アゼリア輝賞	やまだ 豊 (芸術)
スポーツ特別賞	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)
	山口 貴久 (スポーツ実践)
	富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)
	中村 憲剛 (スポーツ実践)
市民特別賞	成田 真由美
平成29年	
文化賞	小倉 美恵子 (文化活動)
	川崎市立坂戸小学校合唱団 (文化活動)
社会功労賞	高野 繁 (保健衛生)
スポーツ賞	川島 哲男 (スポーツ実践)
アゼリア輝賞	新井 卓 (芸術)
	桑原 あい (芸術)
スポーツ特別賞	NECレッドロケッツ (スポーツ実践)
	ニック・ファジーカス (スポーツ実践)

川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞・アゼリア 輝 賞・特別賞の経過について

川崎市文化賞等は、川崎市の文化、芸術、地域社会、市民福祉及びスポーツ等の各分野において、その向上及び発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対し、川崎市文化賞等を贈呈し、文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。

1. 制定 昭和47年（第1回贈呈式 昭和47年11月3日）

- (1) 平成3年度第20回を契機に川崎市文化賞を「川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞」に改正
- (2) 平成15年度第32回に新たにアゼリア輝賞を新設
- (3) 平成17年度第34回に特別賞を新設

2. 賞の内容

- (1) 賞状
 - (2) 副賞 文化賞・社会功労賞・スポーツ賞（30万円）
アゼリア輝賞（10万円）、特別賞（10万円）
 - (3) 記念品
 - ・文化賞・社会功労賞・スポーツ賞については、渡辺豊重氏デザインによるガラス作品「Heart for You」
 - ・アゼリア輝賞・特別賞については、平山義氏デザインによるガラス作品「燦」
- ※制作は東京ガラス工芸研究所

3. 受賞者総数

(昭和47年から平成29年まで)		個人	290	(特別賞を含む)
		団体	70	(特別賞を含む)
		計	360	

4. 分野別受賞者

() 内は団体（再掲）

文化賞		社会功労賞		スポーツ賞		アゼリア輝賞	
教育	29	社会福祉	44(8)	実践	36(20)	学術	1
学術	9	保健衛生	42	振興	16(3)	音楽	15
芸術	54 (9)	産業経済	9	合計	52(23)	美術	1
文化活動	51(14)	地域振興	13(4)			演劇	4
合計	143(23)	合計	108(12)			スポーツ	3
						その他	3
						合計	27

特別賞	
合計	30(12)

5. 平成29年度推薦依頼先 162件（大学・各種団体他）